

プログラム 1日目 6月16日(土)

資格認定講習会

大会議室 9:00~12:20

(心理学系)

Mixed-Effects Model の利用：実験データにおける変量効果の推定 9:00~10:00
講師：山口 剛（日本工業大学共通教育学群）

(工学系)

医療分野における AI 活用の現状と今後について 10:10~11:10
講師：大田黒 紘之（株式会社 ABEJA Development Division）

(医学系)

機能性下部消化管疾患と Biofeedback 11:20~12:20
講師：中村 祐三（東邦大学医療センター大森病院 心療内科）

一般演題①

汐黎ホール 14:20~15:40

1-1 末梢血管動態におよぼすマッサージ器の作用に関する研究

菅谷和実、垣坂皓太、竹内吉和、○安土光男、岡田晴夫、水迫幹、羽鳥航、
宮本優、岡野舜、小川裕月、野々村峻、長津裕己、橋本秀紀、齋藤直也、趙
娜、岩森智也、小林聡

1) パイオニア¹⁾ 2) 中央大学 3) マルタカ

1-2 筆圧フィードバックを用いたペンタブレット型ペン習字学習支援システム

○三田隆広¹⁾、並木亜樹奈²⁾、川澄正史¹⁾

1) 東京電機大学大学院先端科学技術研究科情報通信メディア工学専攻
2) 東京電機大学未来科学部情報メディア学科

1-3 自己身体の認知におけるイメージ操作の検討 一手足写真を刺激とするメン
タルローテーション課題を用いて

○上田遙菜¹⁾、成瀬九美²⁾

1) 奈良女子大学大学院 2) 奈良女子大学

1-4 ストレスチェックとリラクゼーション体験の効果 ～唾液アミラーゼによる
ストレス評価の調査～

○飯田俊穂、加藤由美子、飯田光子、飯田香穂
安曇野ストレスケアクリニック

1-5 座業中心の就労者における生体センシング技術を応用した運動指導の試み

○小貫睦巳¹⁾、中村壽志²⁾、山崎尚樹³⁾、田中一秀⁴⁾

- 1) 常葉大学保健医療学部
- 2) 湘南医療大学保健医療学部
- 3) 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校
- 4) 株式会社 AwesomeLife

一般演題②

汐黎ホール 15:50~17:20

2-1 大学生における1セメスターを通した睡眠時間と学習変数の関連Ⅰ：学期初
期での睡眠の特徴に基づく分類

○成澤 元¹⁾、中川 華林²⁾、山口 剛³⁾

- 1) 公益財団法人 神経研究所
- 2) 法政大学大学院人文科学研究科
- 3) 日本工業大学共通教育学群

2-2 大学生における1セメスターを通した睡眠時間と学習変数の関連Ⅱ：睡眠
の分類と不安および動機づけの関係性の検討

○中川 華林¹⁾、山口 剛²⁾、成澤 元³⁾

- 1) 法政大学大学院人文科学研究科
- 2) 日本工業大学共通教育学群
- 3) 公益財団法人 神経研究所

2-3 表面筋電図を用いた骨盤底筋バイオフィードバックの試み ～試作したベル
ト型電極と筋電センサシステムの応用可能性～

○辻下守弘¹⁾、長嶋洋一²⁾、照岡正樹³⁾、美甘祥子¹⁾

- 1) 奈良学園大学保健医療学部
- 2) 静岡文化芸術大学デザイン学部
- 3) 「VPP」同人

2-4 画像処理を用いた非接触型入力におけるキャリブレーションの検討

○大矢哲也¹⁾、野本洋平²⁾、川澄正史³⁾

- 1) 日本医療科学大学 保健医療学部 臨床工学科
- 2) 新潟県立大学 国際地域学部 国際地域学科
- 3) 東京電機大学 未来科学部 情報メディア学科

2-5 横浜心理トレーニングセンターにおけるバイオフィードバック療法の実践②

○尾崎達哉¹⁾、宇佐見万喜²⁾、清水淳¹⁾、清水努²⁾、宇佐見敏夫³⁾

- 1) 横浜心理トレーニングセンター うさみ心のクリニック
- 2) 横浜心理トレーニングセンター
- 3) うさみ心のクリニック 東海大学大学院

2-6 横浜心理トレーニングセンターにおけるバイオフィードバック療法の実践③

○宇佐見万喜¹⁾、清水淳²⁾、尾崎達哉²⁾、清水努¹⁾、宇佐見敏夫³⁾

- 1) 横浜心理トレーニングセンター
- 2) 横浜心理トレーニングセンター うさみ心のクリニック
- 3) うさみ心のクリニック 東海大学大学院

プログラム 2日目 6月17日(日)

一般演題③

夕黎ホール 10:30~11:50

3-1 大学生における1セメスターを通じた睡眠時間と学習変数の関連 III：セメスターを通じた変化の検討

○山口 剛¹⁾、成澤 元²⁾、中川 華林³⁾、

1) 日本工業大学共通教育学群

2) 公益財団法人 神経研究所

3) 法政大学大学院人文科学研究科

3-2 電気刺激を用いた平衡感覚の制御手法

○古明地 陽、星 善光

東京都立産業技術高等専門学校専攻科 創造工学専攻 電気電子工学コース

3-3 末梢神経刺激を併用したバイオフィードバック療法の研究

○福本 一郎

長岡保養園

3-4 拳児希望のあるパニック症患者の女性にバイオフィードバック療法が有用であった2症例

○小山明子、都田淳、中村祐三、竹内武昭、端詰勝敬

東邦大学 医療センター大森病院 心療内科

3-5 メンタルローテーション課題時のCNVからみたオープンスキル種目選手の認知的特徴

○松本 清¹⁾、今川新悟²⁾、佐久間春夫³⁾

1) 立命館大学

2) 立命館大学大学院スポーツ健康科学研究科

3) 立命館大学スポーツ健康科学部

バイオフィードバックの歴史と今後

西村千秋

シンポジウム

汐黎ホール 15:10~17:10

座長：端詰勝敬（東邦大学医学部心身医学講座）

廣田昭久（鎌倉女子大学児童学部子ども心理学科）

S-1 医療からみた次世代バイオフィードバック

都田淳

東邦大学医学部心身医学講座

S-2 パーチャルリハビリテーションにおける次世代バイオフィードバックの可能性

辻下守弘

奈良学園大学保健医療学部看護学科

S-3 工学教育の立場からみたバイオフィードバックの可能性

星善光

東京都立産業技術高等専門学校ものづくり工学科医療福祉工学コース

S-4 バイオフィードバックにおける心拍変動の可能性

榊原雅人

愛知学院大学心身科学部心理学科

S-5 ICTやAIの時代にバイオフィードバックはどう活用できるか

中尾睦宏

国際医療福祉大学医学部